

血栓回収療法における閉塞血管径と吸引カテーテル径の関連性についての検討

この研究に関する科学的・倫理的妥当性については、当院の「研究倫理委員会」で審議され、その実施について病院長より許可を得ています。この研究の実施期間は、2023年1月16日から2023年5月31日までを予定しています。

【研究の意義・目的】

脳梗塞超急性期における大血管閉塞に対する血栓回収療法では、再開通率の高さ、再開通時間の短縮が求められます。治療成績を高めるためには吸引カテーテルを血栓まで到達させる治療手技が適するとされます。そのためには閉塞血管径に適した吸引カテーテルを選択する必要があります。当院で血栓回収療法を施行した患者様における閉塞血管径と吸引カテーテル径について検討します。

【研究の対象】

2020年11月から2022年5月までに当院で血栓回収療法を行った連続50例を対象とします。

【研究の方法および情報の取扱い】

ご提供いただく情報は、診断名、年齢、性別、神経症状、神経症状の経過などです。これらの情報は、通常の診療で得られた診療記録より抽出しますので、新たに身体的及び経済的負担が生じることはありません。

得られた情報は、個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報を削除した上で研究用の番号で管理し、当院の研究責任者・千原英夫の責任の下、保管・管理されます。また、本研究の結果について学会発表や論文掲載等を行う際は、個人が特定できる情報が含まれないようにした上で、公表します。

【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為にを行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

この研究や個人情報の取扱いに関するご質問やご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。またご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

なお、対象となる患者さんの情報がこの研究に用いられることについて、患者さん（もしくは患者さんの代理人）にご了承いただけない場合には、研究対象としませんのでお申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

連絡先：彦根市立病院 脳神経外科 担当者 千原 英夫
〒522-8539 滋賀県彦根市八坂町1882番地
電話 0749-22-5050（代）